

令和 6 度第 3 回文化施設のあり方検討部会会議録

開催日時	令和 6 年 7 月 2 9 日（月） 午後 1 時から午後 2 時 3 0 分まで	
開催場所	奈良市役所 中央棟 B 1 会議室	
議題	1 開会 2 部会長挨拶 3 報告 4 議事 (1) 文化に関するアンケート調査について (2) 奈良市音声館 実施計画（案）について	
出席者	委員	萩原部会長、上田部会員、風間部会員
	事務局	池田市民部次長、森文化振興課長、荒益課長補佐、徳山総務係長、太田
開催形態	公開（傍聴人 2 人）	
議事の概要		
3 報告 【進捗報告】 ・文化施設のあり方検討部会の設置の経緯及びこれまでの議事を確認 ・7 月 2 3 日に実施したワークショップについて、事務局から説明 【委員意見】 ・ワークショップでは本部会で想像しているのと違うイメージの意見があった。8 月 2 日に実施するワークショップの意見も含めて総合的に考えていくことに賛成する。 ・ワークショップを通じた音声館での検討手法を一つのモデルとして、他の文化施設のあり方の検討にも活かしていけるとよい。 4 議事 (1) 文化に関するアンケート調査について 【議事説明】 ・文化に関するアンケート調査の結果の詳細について、事務局から説明 【委員意見】 ・音声館などの文化施設が、文化芸術の情報提供のハブの役割を担うこと、また、コーディネーターやボランティア、職員がそこで情報を整理し発信することが望ましい。 ・スケジュールされたイベントのほかに、いつ行っても何かがある、誰かがいるという場がニーズに合うのではないか。		

- ・現状の音声館は市内、近隣の利用が多い。いわゆる市民文化の施設というイメージであると遠方からの人は訪れにくい。都市文化の視点と分けて考える必要がある。
- ・若い世代の利用促進やにぎわいの創出など、新たな方向に舵を切る際には、従来の音声館に満足している利用者に、変化を前向きに受け入れてもらいたい。そのためには、音声館について話し合う機会を作り、一緒に考えていこうという機運を作っていけたらよいと思う。

（２） 奈良市音声館 実施計画（案）について

【議事説明】

- ・施設のあり方や課題、コンセプト案について、事務局から説明

【委員意見】

- ・市はあくまで実施計画の骨組みだけを作り、指定管理者の選定時に具体的な提案をしてもらう余地を残してはどうか。指定管理者とともに実施計画を作っていくという姿勢が必要かと思う。
- ・施設のコンセプトに応じた指標が必要。コンセプトは分かりやすくシンプルなもの、あるいは骨子的なものがいい。
- ・指標をつくることはとても難しいが、行政内部で完結する指標ではなく、「どういった人材が育成できた」であるとか、「どんなところと連携できたか」など、どういったことを指標にすべきかを指定管理者とともに考えていくことが望ましい。
- ・施設単体でなにかもを担うことは難しい、近隣のテーマが異なる施設や民間の施設、さまざまな施設間でのネットワークづくりは市が行うのがいいのではないか。そのなかで、ネットワークの質や数、コーディネーター等の人材育成、協働による事業展開、そういうものが指標として検討できるのではないか。
- ・使用料については、公的関与の必要性や市場代替性などを踏まえて設定する方法もある。また、施設維持にかかる経費を含めて算出することも考えられる。